

すべしと御誼被遊候よし、

〔蒼屋雜記〕一豊公略○中 御吉例始

一天正十四年略○中 正月元朝紙子御祝儀御著用以後御吉例ナリ、

〔江戸年中行事〕正月二日、新吉原女郎年禮、其家々の仕著せ小袖、禿まで揃の衣裳にての道中あり、三日は跡著とて、銘々好みの衣裳にての道中、花美風流の粧ひなり、